

素材・製造・商社

テキスタイル製造卸

トップに聞く

生地、製品の両輪で

—21年度(22年3月期)の状況は。

21年度は攻めの時期として全社的に営業攻勢をかけた。もともとターゲットが百貨店販路主力のアパレル以外だったこともあり、従来顧客の回復に加え、アウトドアやスポーツ、インフルエンサー系、EC主力のアパレルなどが業績を押し上げました。

22年3月期の売上高は29億、30億円と創業以来過去最高で、増益を達成する見通しです。21年4月～22年1月の10カ月では昨年同期比30%増、コロナ禍前の19年度と比べても24%増になりました。特に売り上げの6割強を占める製品OEM(相手先

川越政社長 川越浩治氏



事業間連携など奏功し増収

ブランドによる生産)が40%増と大きく伸びており、テキスタイルも16%増と順調に推移しています。

—好調だった背景は。

部内や各事業間、拠点間、管理と営業といった様々な場面での連携をテーマに掲げており、テキスタイルと製品OEM、二つの事業部で一緒に営業に行くなどしたことが成果につながりました。たくさん素材

の中から選んで、同じ会社の管理の中で安全に製品にできる安心感が評価され、新規顧客獲得に貢献。既存顧客の受注も増えました。

海外輸出もコロナ禍前の2倍にまで伸び、全売上高の7%から15%にまで増えました。ベトナムはロックダウン(都市封鎖)があり、今期苦戦しましたが黒字を確保、支店を構えるロンドンと上海が好調でした。ロ

となりました。人件費は増やしましたが、出張費の大幅な削減が収益に貢献しています。就業時間の選択制を導入したほか、テレワークも活用し、労働生産性が向上。海外拠点とはリモート会議などを積極的に開くことで以前よりコミュニケーションが増したように感じますし、それが輸出の拡大にもつながったのではないのでしょうか。この間社員数に増減はなく、同じ人数

でこの数字を達成できたことに手応えを感じています。予算縮小し選択と集中

ロンドンと上海が好調でした。ロ

—来期の方針は。

の顧客をカバーし、引き合いが増加、上海では中国現地力カジュアルアパレルから尾州など日本製テキスタイルの要望が強まっています。利益面でも増益

する役割への期待もあり、これまで行っているクラシからの出向ローテーションを繊維事業でも本格化させる方針。社内及びグループ内での連携もさらに強化する。今年からクロスデバイスショナルチーム(CDT)を専任1人、兼任3人でスタートし、衣料繊維や樹脂・化成品といった分野を超えたシナジーを追求する。「トリーディングの顧客との接点を生か

ボトムアップを大切に

強化していきます。生産コストも高騰しているため、ローコスト経営をしつつ素材供給の幅広さなどで付加価値を付け、社内一貫で物作りの透明性を確保するなど、顧客に納得してもらえ

—組織の強みは。

社員の年代が幅広く、3年離職率はほぼゼロという人材定着率の高さが強みだと思います。ロンドンやベトナムの拠点開設にしても、そこで仕事をしたいというボトムアップ型の意見から実現したものですし、「社員がやりたい仕事をしてもらう」というのが一番のポイントではないでしょうか。

もちろん上がって来た意見をやみくもに実現するわけではありませんが、1回断るともうしたボトムアップが無くなりかねないので、断るにしても理由を説明して理解してもらうようにしています。これからもボトムアップの風土を大切にしていきたいですね。

東洋紡は、米国のバイオベンチャー企業、DMCバイオテク(ノロジス(コロラド州))に出資した。微生物発酵等による化学生産技術の知見をバイオ製品に活用していく狙い。

東洋紡、米バイオベンチャーに出資

同社は14年創業で、微生物の発酵による化学品の開発をしている。一般にバイオ化学製品は製造時に不要な副産物が生成さ

環境配慮の協賛イベント

アシックス、シヨッパ

カネ

プニ

カネカは生分解性グリーンプラネックスジャパンのショッピングバ

目的の化学品を選ぶく生産するプロヤ医薬品やサプリメント

東洋紡は18年か系ベンチャーファSSFに

域と親和性の高い化学品の探索を行って、CSCEFを

大学生向け体験イ

レーディング付加価値型ビジネス強化
若手、中堅の人材育成
東南アジアで樹脂・化成品拡大

ベトナム両拠点連携して顧客開拓を進める構え。さらに5〜10年後にはベトナム地場企業の台頭も見据え、営業の足場固めをする。

繊維では、この間進めてきたポットフォリオ改革を加速し、縫製品やスマートウェアといった高付加価値品をさらに伸ばす。西条工場の差別化系とベトナム縫製の強みを融合し、昇華転写プリント等も組み合わせ

同社は14年創業で、微生物の発酵による化学品の開発をしている。一般にバイオ化学製品は製造時に不要な副産物が生成さ